

ユニクロ

UNIQLO

UNIQLO (in Singapore) 概要

- 進出年：2009年（日本：1984年に一店舗目がオープン）
* 2016年に東南アジア初のUNIQLOグローバル旗艦店がオーチャード・セントラルにオープン
- 店舗数：27店舗（日本：809店舗）
- 調査対象店舗：Bugis +





①外観②内装

- 外装、内装問わず日本とほとんど変わらない。
- 男性と女性、キッズで販売エリアが分けられている。
- シンプルで見やすい

③客層（ターゲット）

日本

- ・大人が多い

シンガポール

- ・大人が多い

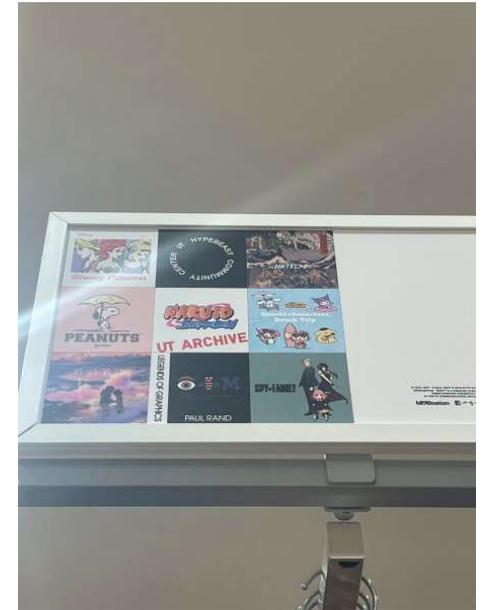
④価格

- ・日本に比べて全体的にシンガポールの商品の方が高い（持っているブラウスやカバンでは1000円ほど高かった）
- ・S\$だけではなくRM（マレーシア・リングット）の価格表記もあった



⑤商品（ターゲット）

- 子どもから大人までの商品を販売している。（日本と同様）
- 男性と女性の両方の商品を販売している。（日本と同様）
- 販売しているものの大半が夏用であった。（エアリズムやたけの短いTシャツ、ノースリーブのワンピース等）
- 日本のアニメのUTを多く販売していた。



⑥ サービス

- ・日本と同様に店員が積極的に接客するわけではない。
(質問をした際は丁寧に対応してくれた)
- ・商品を使ったコードの例が取り上げられていた。

⑦ レジ

日本と同様にデジタル化が進んでおり、ほとんど無人で対応できていた。

⑧ サイズ

- ・日本と同じサイズ表示
- ・日本ではまれに見ない、XXLや3XLも販売されていた。
- ・人気のサイズは、MとXL



⑨質感・デザイン

- ・日本とシンガポールで変わらない
- ・シンプルなデザインが多い

⑩バイト

- ・Bugis+の時給は、11ドル（ライカム沖縄店の時給は1200円）
- ・高校生や大学生も放課後や週末に働いている。



- 感じたこと：
- ・日本とほとんど変わらない事に驚いた
 - ・多民族国家ならではの配慮がされているように感じた